

第四十回帝國議會
衆議院

朝鮮事業公債法中改正法律案外一件(樺太事業)委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正七年二月六日午後一時十五分開議

出席委員左ノ如シ

政尾 藤吉君

牧山

耕藏君

奥田

龜造君

松浦 與三郎君

鈴木

錠藏君

井戸

文四郎君

鵜澤 宇八君

川崎

克君

同日委員井島茂作君辭任ニ付其補闕シテ鵜澤宇八君ヲ議長ニ於テ選定セリ出席政府委員左ノ如シ

朝鮮總督府
度支部長官 鈴木 穆君

樺太廳長官 昌谷 彰君

朝鮮總督府事務官 河内山樂三君
大藏省理財局長 神野勝之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮事業公債法中改正法律案

樺太事業公債法案

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 朝鮮事業公債法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス、政府委員ノ説明ヲ求メマス

○政府委員(鈴木穆君) 此朝鮮事業公債法ハ此所ニ示シテ御坐イマス通り、從來九千六百萬圓ニナツテ居リマシタガ、今回ハ七千七百萬圓ヲ之ニ附加ヘルコトニ致シマシタノデ、其計算上一億六千八百萬圓ニ之ヲ改正スルコト云フ必要ニナツタノデ御坐イマス、尙此七千七百萬圓ハ主トシテ咸鏡北道ノ永興カラ楡城ニ至リマス鐵道ヲ敷設致シマス、ソレカラ鎮海カラ昌原ノ間、平壤ノ炭鑛線ニ屬シテ居リマス美林、勝湖里ノ間ノ鐵道及京釜義兩線ノ一部ノ改良竝ニ必要ナル車輛ノ増設ヲ致シマス、是等ノ爲ニ七千七百萬圓ノ費用ヲ要スルノデアリマス、是ハ別途繼續費ニナツテ居リマシテ、其方決定ヲ致シマスレバ、自然此公債事業法ノ改正ヲ要スルコト云フコトニナツテ居ルノデアリマス

○牧山耕藏君 此間大藏大臣ガ本會ニ於テ説明ヲサレマシタ趣意ハ、「大正七年度以降八年度ニ互リマス所ノ事業ニ要シマス財源ト致シマシテ、尙ホ公債ノ發行額ヲ七千七百七十七萬二千二百圓ト云フモノヲ増加致シマシテ、此法律ヲ一億六千七百三十二萬一千九百九十九圓ニ致シタコト云フノガ、此法律ノ精神デ御坐イマス」ト言ッテ法律案ノ趣意ト大變違ヒマスガ、是ハドウ云フノデ御坐イマスカ

○政府委員(鈴木穆君) 前二一寸簡單ニ申シマシタ通り、一億六千七百三十二萬一千九百九十九圓ト云フモノガ所有額デアリマス、然ルニ此公債ヲ發行シマス時分ニ、政府ノ手取金額ト云フモノハ發行額ヨリ多少減リマスカラシテ、大體は一億六千八百萬圓ト云フコトニナル次第デアリマス

○牧山耕藏君 其點ハ分リマシタ、サウスルト此後大正十四年度迄ノ此公債ノ使途ヲ明確ニ數字デ年度割ヲ御示ヲ願ヒタコト思ヒマス、大體ニ於テ咸鏡線若クハ昌原鎮

海其他ノ鐵道改良費ニ使フト云フコトノ大體ハ分リマシタケレドモ、年度割ヲ何カ調べタモノヲ……

○政府委員(鈴木穆君) 御答致シマスルガ、此乙號此繼續費ノ方ノ所ニ、年度割ガ委シク示シテアリマス、ソレカラ是マデ既ニ公債支辨ニ屬シテ繼續費ノ決議ヲ得タモノ、其合計ガ唯今御尋ノ數ニナル譯デ

○牧山耕藏君 ソレハ書イテ一枚宛頂戴スルヤウニ願ヒタイ

○政府委員(鈴木穆君) 唯今大體ノ數字モ御入用ダト云フナラバ、此處ニ表ガアリマスカラ……

○鵜澤宇八君 一寸此樺太ノ事業公債法ニ付テ……

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 今朝鮮事業公債法律案デケテ……

○川崎克君 甚ダ勝手デ御坐イマスガ、速記ヲ止メテ一寸簡單ニ其説明ヲ願ヒマセマデセウカ

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 極ク簡單ニ説明デシタカラモウ一度速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○鈴木錠藏君 朝鮮鐵道敷設費ハ一哩現在ニ於テハ、ドノ位ニ當ッテ居リマスカ

○政府委員(鈴木穆君) 一哩當リガ十一萬七千七百四十六圓トナツテ居リマス、ソレデ之ヲ計算シマシタノハ昨年ノ九月ノ調デアリマスガ、總哩數ガ千八百八十八哩デアリマシテ、所要金額ガ一億二千七百七十九萬六千八百六十三圓、斯ウ云フモノニナツテ居リマス、是ハ總督府開始以前ノ總テノ經費ヲ合計致シマシタル總平均デアリマス、即チ此京釜線ノ如キ又京義線ノ如キ、孰レモ政府ノ手デ施設シタモノデアリマセヌガ、是等ノモノマデ總體ニ入レマシタル是ハ費用ニナツテ居リマス

○川崎克君 是ハ大體此豫算ノ方デ、此仕事ノ内容ニ付テハ出テ居リマス案デアリマスガ、此委員會トシテハ矢張其内容ヲ詳シク伺ッテ置キタイト思フ、從來ドウモ此法律規則ノ制定ガ豫算ヨリモ後ニナツテ、議會デ協議スルコト云ツタヤウナコトガ往々アルノデアリマス、前年モ朝鮮事業公債ノトキニ、サウ云フ弊ガアツタ、一昨々事ノ議會デアツタカ、サウ云フコトモアツタデアリマスガ、今度ハサウ云フコトノナイヤウニ豫算以前ニ此法律案ヲ議スルコトニシタイ私共ノ希望デアリマス、ドウカサウ云フ意味ニ於テ此關係書類ハ成ルベク御出シヲ願ヒタイ、今ノ御説明ニ依ルト建設費モアレバ改良費モアル、其内譯ニ於テモ餘程複雑ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、ナラウコトナラバ是等ノ書類ヲ委員ノ手許ニ御廻シヲ願ハレマセヌデセウカ、サウスルトソレノ調査ヲ致シテ研究シテ見タイト思ヒマスガ、如何デ御坐イマセウカ

○政府委員(河内山樂三君) 唯今ノ御希望ハ大體ヲ書キマシテ差上ゲマシテ一向差支アリマセヌ、尙ホ大體ヲ唯今御話致シマシタ方ガ宜イト云フ事デアリマスレバ、簡單ニ申上ゲテモ宜シウ御坐イマス

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 至急ニ廻シテ戴キマス

○政府委員(河内山樂三君) 後テ御廻シ致シマセウ

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 他ニ御質問ガ御座イマセヌカ

○奥田龜造君 此咸鏡南北道線ノ清津カラ元山ハ何年位テ完成スル見込ミデアリマス

○政府委員(河内山樂三君) 御答ヘ致シマス、清津輪城ト云フモノハ出來テ居ルノデアリマス、故ニ今回ハ永興カラ輪城ニナリマスノデアリマス、是ハ大正十四年マデニ完成スルコトニナツテ居リマス

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 此朝鮮事業公債法中改正法律案ニ付テ他ニ御質問ガナケレバ、次ニ樺太事業公債法案ニ付テ委員會ヲ開キマス

○川崎克君 唯今ニ委員長ノ御宣告ハ質問打切リト云フノデスカ

○委員長(法學博士政尾藤吉君) サウデアアリマセヌ、質問ハ保留シテ置キマス

○川崎克君 ソレデアハ書類ガ出テカラ質問スルコトニ致シマセウ

○委員長(法學博士政尾藤吉君) ソレデアハ引續イテ樺太事業公債法案ノ委員會ヲ開キマス、政府委員カラ大體ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(昌谷彰君) ソレデアハ簡單ニ樺太事業公債法案ノ趣旨ヲ説明致シマス、此法案ニ書イテ御坐イマス通りニ、金額五百五十萬圓ノ公債ヲ發行スルコトニナツテ居

リマス、是ハ全部鐵道建設ニ使フ 用途デ、御承知ノ通り樺太ハ島ノ内外共ニ交通ガ非常ニ不便ナ所デ、雙方ノ交通ヲ總テ良クナケレバ仕事ガ進モ舉ル 見込カナカラウト思ヒマス、付キマシテハ内地トノ往來ニ付テモ、出來得ルダケ著ケルヤウニ致シテ居リマス、ソ

レト同時ニ島内ノ交通モ便利ニシタイト思ヒマス、ソレニハ最モ必要ナル鐵道ト云フモノハ、樺太廳ニ於ケル多年ノ問題デ、今日僅カニ六十哩ノ鐵道ガアル位デアリマスガ、是ハほんノ一部ノ交通ノ便利ニ過ギヌノデ、茲ニ於テ今回此公債ニ依テ鐵道ノ敷設ニ

著手シヤウトノ計畫ヲ致シタノデアリマス、無論樺太島内ノ全般ノ交通ヲ便ニスルコト云フコトニ付テハ、此處ニ提出シテアル是ダケノ方デハ不十分デアリマス、併シ經濟ノ關係尙ホ又他ニ調査ヲ要スル點モアリマスノデ、差當リ是ダケノ金額ヲ用途ニシテ建設ニ

著手シヤウト云フ積リデアリマス、其鐵道ヲ建設スル哩數ハ百一十一哩、工費ハ五百四十七萬四千九百圓、斯ウ云フコトデアリマス、尙ホ御尋ニ依リマシテ御答致シマス

○鵜澤宇八君 一寸質問致シマスガ、此我國ニ於ケル新領土中ニ於キマシテ、臺灣朝鮮ト比ベマシテ、樺太ノ如キハ餘リ未開ノ地トモ云フベキ場所デアリマシテ、鐵道ノ敷

ナク此樺太ハ餘リ開發ヲスル先驅ト致シマシテハ、此道路ダトカ港灣ダトカ鐵道ダトカ、即チ交通ヲ成ル丈ケ早ク完全ニスルコト云フコトガ、是ハ最モ必要ナ事デ、私モ此事ニハ至極

贊成スルモノデアリマス、又本斗ニ築港ヲ致シマスル其場合ニ於キマシテ、本土ニ交通致シマスル連鎖ト致シマスルニハ、鐵道ヲ設ケルト云フコトハ急務デアルト云フコトハ論

ヲ俟タヌ話デアリマス、併ナガラ此港灣ノ未ダ出來ザル此場合ニ於テ、此鐵道ヲ先ニスルコト云フ事ガ必要デアリマス、將又ソレ以上最モ先ニ此鐵道ヲ敷ク必要ナ所ガアラウ

ト考ヘル、ト申シマスノハ此度ノ此鐵道計畫ヨリモ、此東海岸ニ於キマシテハ、澤山ノ人民モ居リマス、又漁業ト致シマシテモ開發スベキ場所ガアリマス、此東海岸ノ最

モ必要ナル所ニ冬季ニハ航海ガ出來ナイ、鐵道ニ因ルニアラザレバ如何ニモ仕方ガナイ、斯ウ云フ場所ニ先ニ敷カナイデ、此船舶ノ便利ニ往復シ得ルヤウナ所ニ先ニ鐵道ヲ敷設スルコト云フ理由ヲ一應承リタイノデアリマス

○政府委員(昌谷彰君) 御尤ノ御尋デ御坐イマス、當局ニ於テモ東海岸ニ鐵道ヲ敷設スル必要ノアルコト云フコトハ認メテ居リマス、唯要ハドチラガ急ヲ要スルカ否ヤ、實ハ

樺太ノ線ハ到ル處急ヲ要スルノデアリマス、唯今丁度御尋ノ中ニモ出マシタ通り、本斗ノ築港ハ十二年度ヲ以テ竣工スル筈デアアル、而シテ此港ニ對スル鐵道ノ聯絡ト云フモノハ現在ニ於テハ一ツモナイ、折角樺太トシテハ相當ナ金額ヲ掛ケテ港ヲ造リマシテ、而モ

鐵道ガ出來ナケレバナラヌノニ、コレガ十分出來ヌヤウナ有様デアリマス、先ツ築港ノ出來ルマデニ少クとも之ニ連接シ得ル、東ナリ西ナリノ方面ニ鐵道ヲ著ケテ、而シテ之ヲ計畫シテ居ル間ニ於テ、更ニ尙ホ計畫ヲ進メテ御話ノ東海岸ナリ、又西海岸ニシテモ當局ハモウ少シ延バスコトラシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、唯今日ハ此償還財源ニ付

テモ今少シ研究ヲスル必要ガアラウカト云フヤウナ説モ出テ居ルヤウナコトデアリマス、是等ニ付テ十分ノ調ヲ致シマスレバ出來得ルダケ早ク東海岸ヘモ建設ヲシテ御希望ニ副フト云フヤウニ出來得サウナモノダト考ヘテ居リマス、是非當局ニ於テモ其點ニ於テハ努メ

タイ考デアリマス

○鵜澤宇八君 此度ノ計畫ノ中ニ於テ、若モ東海岸ニ直ニ敷設スルコト云フノ便利ト必要トニ迫ツタ場合ニ於キマシテハ、此事業公債支辨中ノ費用ヲ以テ、直ニ著手スルコト云フ見込ガアリマス、又爲シ得ラルモノデアルト信ズルノデゴザイマセウカ

○政府委員(昌谷彰君) 御答シマス、當局ニ於テハ若シ東海岸ニ是以上急ニ敷設スル必要ガアリト認ムレバ、更ニソレニ對スル豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ仰グコトニシタイ考デ御坐イマス

○鵜澤宇八君 サウスルト此金ヲ以テ此東海岸ニ著手スルコト云フコトハ出來ナイト見テ、更ニ必要ノ場合ニハ別ニ要求ヲ致シテスルヨリ外ハナイト云フコトニナルノデスカ

○政府委員(昌谷彰君) サウ云フコトデアリマス

○鵜澤宇八君 此計畫ノ中ニ於キマシテ、眞岡ヨリ豊原ニ直通スル所ノ線路ニ變更致シマシタナラバ、至極樺太開發上ニ於テ便利デアリマセウシ又經費ノ上ニ於テモ餘程利益ガアルト見ラル、ト思フ節モアリマスガ、尙ホ政府ニ於キマシテ是等ノ線路ニ付

キマシテ、十分調査致シテ有利ト認ムル場合ニ於テ變更スルコト云フ御意見ハアリマスマイカ

○政府委員(昌谷彰君) 御答致シマスガ、眞岡豊原線モ大體ニ於テ調査ヲシタノデアリマス、是モ捨ツベカラザル線路デアルト思ヒマス、併シ更ニ十分調査シタ結果トシテハ、貝塚本斗線ノ利益アルニハ及バヌト云フコトヲ研究ノ結果感シマス、免二角是モ

他日ノ問題トシテ、今日此五百五十萬圓ノ公債ニ依テ敷設スルノハ、矢張現シテ居ル通り貝塚本斗線ヲ採リタイ考デアリマス

○奥田龜造君 私ハ此樺太本斗港ノ方ガ早ク出來ルノガ本當デハナイカト思ヒマス、此本斗港ハ大正五年ニ二百五十萬圓協賛シテ築港ヲ爲シテ居ルノデ御坐イマス、先

ヅ鐵道ト築港ト云フノハ十分ニ聯絡ノ著クヤウニシナケレバ其效果ガ薄イノデアリマス、

先ヅソレカラ始メテソウシテ必要ノ場所ノ方ニヤル方ガ宜イデハナイカト思ヒマスガ、ドウデスカ

○政府委員(昌谷彰君) 當局ハ御話ノ通り考ヘテ居リマス、東海岸モ無論早クシナケレバナリマセヌ

○鈴木錠藏君 唯今朝鮮ノ事ニ付テノ地圖及書類ヲ頂戴シテ頗ル便利デスケレドモ、樺太ノ問題ニ付キマシテモ斯ウ云フ地圖及何カ書類ガ御坐イマシタラバ頂戴致シタイ

(賛成々々)ト呼フ者アリ

○政府委員(昌谷彰君) 此方ニアルサウデスカ御手許ニ差出スコトニ致シマス

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 他ニ御質問ハ御坐イマセヌカ

○井戸文四郎君 此鐵道ノ年度ハドウナッテ居リマス、何年度カラ著手シテ何年度ニ終ルノデスカ

○政府委員(昌谷彰君) 詰マリ大正七年度ニ著手シマシテ十一年度ニ終ルト云フ計畫デアリマス

○鶴澤宇八君 唯今ノ説明デ了解シマシタガ、サウシマスト政府ニ於キマシテハ此鐵道ノ工事ノ完成セザル前ト雖モ、東海岸ノ必要ナル場所ニ向ッテ、更ニ事業公債ヲ募ラデ此敷設ニ著手スル御積リデアリマセウカ

○政府委員(昌谷彰君) 樺太廳當局者トシマシテハ、御話ノ通りニ此工事ノ終ラヌ中ニ更ニ他ノ線路ニ著手シタイト考ヘテ居リマス、唯主務大臣ノ御方デナイツレガ確ニ出來ルト云フ迄ハ申上ケルコトガ出來ナイノデアリマスガ、樺太廳當局トシテハサウ考ヘテ居リマス

○鶴澤宇八君 本員ノ考デハ本斗ヨリ野田山ニ至ル海岸ニ向ヒマシテハ、勿論鐵道敷設ノ必要モアリマスコトハ論ヲ俟チマセヌガ、此地方ハ北海道トノ交通ノ便利ヲ持ッテ居リマスシ、又冬期ト雖モホノ一月若クハ十二月ニ至ッテ困難デアリマスケレドモ、年中大概交通ヲ得ラレル便利ヲ有シテ居リマス、而シテ何レモ海岸ニ在ル場所デアリマスカ

ラ、鐵道ヲ俟タヌデモ免ニ角相當ノ開發ヲ期スル事ガ出來ルノデアリマス、然ルニ東海岸ニ於テハ先程申上ケル通り、十一月ヨリ翌年ノ四月頃ニ至ルマデハ、堅氷ヲ閉サレテ殆ド交通ハ杜絶致スコトニナルノデアリマス、漁業ヲ致シマス者ハ前年度ヨリ其土地ニ越年スルニアラザレバ、全ク漁業ニ從事スルコトガ出來ヌヤウナ有様デ、開カントスル漁業ト雖モ發展ヲスル事ガ出來ナイ、獨リ漁業ノミナラズ農業ニ致シマシテモ、亦森林ノ如キニ致シマシテモ、ドノ位不便ヲ感ジテ居ルカ分ラヌノデアリマス、此交通ガ無イ爲ニ地方ニ居住シテ居ル者ハ、糧食ガ盡キテ餓死スルヤウナ事モ今日迄既ニ二三回アツタト私ハ承知シテ居リマス、斯ノ如キ場所デアリマスシ、且又樺太全島ノ約半分ヲモ森林ヲ有シテ居ッテ、今日之ヲ利用スベキ途ハ獨リ「パルプ」バカリデアリマセヌ、諸多ノモノガアルノデアリマス、何トカシテ澤山アル所ノ富源ヲ開發スルコトハ、獨リ樺太ノミナラズ我國ニ於テ最も急務デアラウト思ヒマス、私ナドヨリ申シマシレバ本年ノ築港ガ出來マシレバ、本斗貝塚ノ連嶺ハ勿論必要デアリマスケレドモ、西海岸ニ鐵道ヲ敷設スルヨリモ遙ニ東海岸ニ鐵道敷設ノ急ヲ感ジテ居ルノデアリマス、此意味カラ申シマシレバ先ヅ十分調査ヲシテ、一日モ早ク東海岸ノ開發ヲ期シテ、而シテ樺太ノ開發ニ及ブト云フコトガ急務中ノ

急務ト考ヘマス、當局ニ於テ既ニ此案ヲ出シマシタモノヲ、否決スルト云フコトハ私ハ甚ダ好ミマセヌ、樺太開發ノ爲ニ最モ希望スルケレドモ、是ト同時ニ樺太長官ニ於カレマシテハ、翌年度ニ於テモ成ルベク早ク東海岸ノ鐵道敷設ノ御計畫ヲ以テ御提出セラレヤウニト云フコトヲ、希望トシテ茲ニ申述ベテ置キマス

○奥田龜造君 樺太ノ施設上鐵道ノ急務ナル事ハ最モ必要ト認メテ居リマスガ、樺太ノ施設ガ餘リニ陸ニ偏シテ居ッテ、海ノ方面ニ於テハ何等ノ施設ヲ見ナイヤウナ感ガアリマスガ、樺太ハ御承知ノ通り海カラ上ル產額ガ重要ナ位置ニアルノデアリマシテ、此方面ノ開發ヲ爲サルト云フ御考ハナイノデアリマセウカ

○政府委員(昌谷彰君) 御尋ノ通り海ニ付テモ十分ノ施設ヲ速ニシタイト云フ考ハ有シテ居リマスガ、之ニ付テハ或ハ漁港ヲ設ケルコト或ハ漁業ニ付テ獎勵ノ方法ヲ講ズルトカ、各種ノ方面ノ仕事ガアルヤウニ思ヒマス、當局ニ於テモソレニ付テ必要ヲ感ジテ居リマスガ、マダ十分ノ調査ガ出來上ラヌ點ガ多アルノデアリマス、來年度提出シテ居リマス豫算ニモ、或ハ漁港ノ調査トカ、或ハ僅カノ樺太ノ經費ノ中デ幾分カラ割イデ試驗場ノ仕事ヲ殖ヤスト云フヤウナ事ニ努メテ居ル積リデアリマス、又此漁港ノ調査デモ出來上リマスレバ、直ニ是ガ工事ニ著手スルコトモ考ヘナケレバナリマセヌ、サウナルト經費ノ許ス限リニ於テ、相當ノ金額ヲ投シテヤラナケレバナラヌ事ト思ヒマス、唯御承知ノ通り小サイ世帯ノ事デアリマスカラ、十分ノ金額ヲ支出シ得ルヤウニスルコトニ付テハ當局ノ苦心ノ存スル所デアリマス

○鶴澤宇八君 尙ホ一應聽イテ置キタイノデアリマスガ、前年ニハ樺太ノ鐵道計畫ハ東海岸ニモ同時ニ敷設スルヤウナコトニ聞イテ居ッタノデアリマスガ、實ハ此提出サレヌノヲ見テ、私ハ不可思議ニ思フノデアリマス、全ク多額ノ金ヲ投シテ港灣ヲ修築シタノハ、西ト東ト殘ラズ鐵道ヲ敷設シテ、總テノ物資ノ集散ヲ本斗ニ依テ爲シテ、而シテ大々的ニ樺太ヲ開發スルコト云フ計畫ノヤウニ承知シテ居ッタ、然ルニ斯ノ如ク半分バカリニ切離サレタ小計畫ニ變ジテ、所謂樺太開發ノ不徹底ヲ示シテ居ル理由ハドウ云フ譯デアリマセウカ、先程ヨリ政府委員ノ答辯スル所ニ依リマス、將來ヤルト云フコトデアリマスガ、或ハ時ノ内閣ニ於キマシテ是等ノ事ヲ承認シナカッタノデアリマスガ、承認シナカッタラバ前途モ亦承認シナイト云フヤウナ虞ヲ抱クモノデアリマスガ、樺太當局ニ於キマシテハ是ニ向ッテ尙ホ十分ニ力説シテ、政府ヲシテ同意サセテ東海岸ニモ及ブト云フ御決心ヲ持ッテ居リマスカドウデスカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(昌谷彰君) 唯今ノ御尋ノ或一部ニ付テハ御答スルノニ甚ダ苦シミマスガ、免ニ角當局トシテハ出來得ルダケ——此倍以上モ早クヤラナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、御承知ノ通り目下物價ガ非常ニ騰ツテ居ル時デアリマスカラ、此豫算ハ矢張今日ノ物價ニ依テ積ラレテ居ルノデ、他日平和デモ克復シタ際ニハモウ少シ經濟ニヤルコトガ出來ヤウ、寧ロ今日ニ於テ此物價ノ騰ツテ居ル時ニ餘計ナ線ヲ計畫スルト云フコトハ、唯ダ豫算ノ膨脹ヲ來シテ、事實ニ於テソレダケノコトガヤリ得ナイト云フコトガ現ハレハシナイカト云フ關係カラシテ、又他ニモ幾分調査モ要スル點ガアルト云フコトデ本年提出シタノハ是丈ニ止メタノデアリマス、併シ出來得ル丈物價ノ舊ニ復スルヲ待チ、又他ニ調査スベキコトモ是非速カニ調査ヲシテ、前ニ申上ゲタ成ルベク早ク他ノ線ニ付テノ提案ヲ

シタイト思ヒマス、内部ノ關係ニ付テハ説明ヲ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○奥田龜造君 先刻政府委員ノ御説明ニ港灣ヲ造リタイト思フト云フヤウナ御言葉モ御坐イマシタガ、ソレハ御調査ニ掛ッテ居ラシタルノデスカ

○政府委員(昌谷彰君) 既ニ調査ノ出來テ居リマス分ハ、僅カ一二箇處デアリマシテ、來年度更ニ出來得ル丈餘計ノ場所ヲ調べ、大正七年度ニ於テ其設計ヲ決メテ、此調査ハマダ連モ來年一年デハ出來ナイデアリマスカ、年々調査ヲ行キ、又其調査ノ出來上ツタモノカラ、經濟ノ許ス限リ出來ル丈早ク其調査ノ結果ヲ實際ニ現スコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

○奥田龜造君 然ラバ凡ソ何處ガ宜シイト云フ御調査ニナルコトナレバ、先ニ敷設スル此鐵道ハ、其漁港ト聯結ノ著クヤウナ場所ニ鐵道ヲ敷設ニナルノデスカ、是ハ如何デスカ

○政府委員(昌谷彰君) 詰マリ此鐵道ノ線路ハ殆ド全部海岸ニ依テ居リマス、又樺太ノ地形トシテ如何ニ海岸ヲ離レテモ、餘計離レルコトノ出來得ナイ地形デアリマス、結局ドノ場所ニ漁港ヲ造ルト云フコトニナツテモ、此線路ハ甚シク不便ヲ生ズルコトノナイ見込デ御坐イマス

○鈴木錠藏君 問ガ重複ニナルカモ知レマセヌガ、本斗カラ貝塚ニ至ル線ト、ソレカラ眞岡カラ豊原ニ行ク線ヲ比較シテ見ルト、ドウモ眞岡カラ豊原ニ行ク線ガ急務デアラウト思ヒマスガ、政府ハ本斗ト云フモノニ築港シタガ爲ニ、ドウシテモ之ヲ固執シテ眞岡カラ豊原ヘ行ク方が必要デアルト認メナガラ、此本斗ノ築港ト云フコトニ捉ハレテ、此本斗ノ敷設案ヲ御出シニナツタノデアリマセヌカ、其處等ノ御意竊ハドウデスカ

○政府委員(昌谷彰君) 御答致シマスガ、無論眞岡ト豊原ヲ聯結スルニ付テモ、唯今利益ノアル點ヲ確ニ認メテ居リマス、併ナガラ雙方ノ線路ノ利益ヲ比較シマス、此本斗線ガヨリ大ナル利益ガアルト信ジタ結果之ヲ提案シタノデ、其利益ト申シマスノハ、一ツハ豊原眞岡間ヲ聯結致シタノデハ——樺太デハ普通ニ灣内ト申シテ居リマスガ、其圖面デ一番下ノ所ニナツテ居ル間ノ場所、此場所ガ本斗港ノ出來上ツタ後、之ヲ利用スルニハ態々豊原カラ引上ケテ行ツテ、又眞岡カラ豊原ニ戻ツテ來ナケレバナラヌト云フ不利益ガアル而シテ貝塚本斗線ニハドウ云フ不便ガアルカト云フト、是ハ殆ド無イノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ此貝塚本斗間ニハ樺太トシテハ比較的大ナル沃野ガアルノデアリマス、將來ニ向ッテ開發スベキ餘地ガ非常ニ多クアリマシテ、一面眞岡豊岡間ニハ其地面ガ比較的少ナイノデアリマス、無論ナイノデアリマセヌカ、尙又森林ノ利用ノ關係カラ申シマシテモ、豊岡眞岡線モ森林地帶トシテハ相當ニ利用ガ出來マスルガ、貝塚本斗線モ亦其間ノ河ヲ利用シテ大部分利用ガ出來ル關係ガアリ、又モウ一ツハ灣内ノ西海岸方面ニハ少ナクとも早晚鐵道ヲ岬マテ持ッテ行ク必要ガアラウト思フノデアリマス、ソレハ詰リ能登呂ノ端ノ海岸ハ、北海道ガ稚内デアリマシテ、北海道ハ稚内マデ鐵道ヲ作ルト云フコトニナツテ居リマス、若シ此鐵道ガ出來上リマスレバ、對岸ニ餘リ大ナラザル船ヲ用ヒズシテ、往來ガ出來ルヤウナ狄イ所デアリマス、貨物ハ免モ角旅客ノ往來ニ對シテハ此間ニ汽船ヲ通ハセ、更ニ樺太廳ノ鐵道ヲ架ケルト云フコトニ付テ其利益ヲ得、之ニ續イテ貝塚本斗ノ線ヲ利用ガ出來ルト云フ利益モアルノデアリマス、是等ノ各方面

ノ利害ヲ研究シマシタ結果、貝塚本斗ノ方ガヨリ大ナル利益ガアルト考ヘテ、先ッ此線ヲ取ルコトニシタノデアリマス

○委員長(法學博士政尾藤吉君) 他ニ御質問ハアリマセヌカ、ソレデハ樺太事業公債法案ニ付テハ、質問ハ是デ打切ッテ御異存アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士政尾藤吉君) ソレデハ異議ナシト認メマス、是デ質問ヲ終了シマシタ、散會ヲ致シマス

午後二時十二分散會